学校番号	215

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ　（光村出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

■書道Ⅰで学んだ筆遣いを踏まえて寄り高度な技術を身につけましょう。
■筆の弾力を使いこなし、仮名作品を通じて自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざし、オリジナルな表具をして鑑賞します。
■作品に押すための石印を制作し、年賀状等にも使えるようにします。
■身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 書への関心・意欲・態度	b. 書表現の構想と工夫	c. 創造的な書表現の技能	d. 鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元･題材名	学習内容･活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1	仮名へのいざない ・鉛筆による連綿の練習 ・小筆を使った連綿の練習	連綿の効果を知る。 単体と違う美的効果や速く書ける効能などを筆を立てるという意識の必要の無い硬筆で連綿することにより感じとる。 仮名の成り立ち（草仮名、仮名、真名、万葉仮名、字源等）を知る。 ２．３文字から５．６字連綿を常に次の画を意識しながら書く。	○	○		○	a：小筆を使った仮名について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b：書道Ⅰでの基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c：姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d：様々な仮名の類似点・相違点、漢字と仮名の類似点、相違点について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
	仮名の臨書	粘葉本和漢朗詠集、高野切一種、三種、 寸松庵色紙の臨書	○		○		a：仮名独特の表現に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b：行書きや散らし書きの表現を工夫している。 c：執筆法の違いによる表現の違いを具現している。 d：様々な仮名の類似点・相違点、漢字と仮名の類似点、相違点について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
	貴族文化への誘い	粘葉装（胡蝶装）の理解、平安貴族の生活の一端を知る 寸松庵色紙複製、西本願寺本三十六人集複製、料紙の鑑賞	○			○	a：時代による表現様式の違いに興味を持っている。 b：料紙の模様や色などに対する表現法を考えている。 c：装丁による表現の違いを理解しようとしている。 d：時代背景にも興味を持って平安朝の表現を理解している。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
	半懐紙1/8サイズへの作品制作	自分の好きな言葉を散らし書きによって作品制作する。	○		○		a：意欲的に書きたい言葉を考え、積極的に授業に参加している。 b：今まで学習した仮名書法を駆使している。 c：作品構成などにおいて今までの学習を基にして様々な発想をしている。 d：料紙を生かした表現をし、他人の作品の良いところも取り入れながら作品を仕上げている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
	表具	学期最後の授業で仕上げた仮名作品を裏打ちし、各自用意したマットをパネルに貼り作品を貼り付け、枚方・北河内地区高校生書道展と文化祭出品作とする（次単元で作成した印を最終的に押印）	○	○		○	a：昨年度以前の作品写真などを参考にして自分の作品を生かすマットなどを準備している。 b：自分の作品を生かす表具について積極的に考え、丁寧な作業をしている。 c：カッターがけや糊付けなど装丁の作用をきっちり丁寧に行い、作品をより良く見せようとしている。 d：他人の作品の良さも味わいながら自分の作品に取り入れようとしている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品

	篆刻	自分の名前の一文字を朱文で印に仕上げる（プリント使用） 印稿作り・印面調整・布字・刻印・側線調刻	○		○	○	a： 篆書を様々にデザインし活動に意欲的に取り組もうとしている b：篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c：印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け、印刀使用時においても正しく切れ味のある表現を身につけている。 d：様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。また作品に押印後どう変わったのか味わう。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
2	生活の中の書	料紙作り 年賀状	○	○		○	a： 料紙に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b：年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c：基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d：暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・提出作品
3	実用的な書	干支、賀寿の学習 のし袋等の書式、冠婚葬祭の常識を学ぶ 細字の練習（御祝等の手本使用） 葉書の宛名の書き方を学ぶ 季節の挨拶を学ぶ 手紙の書式を学ぶ	○	○		○	a：実生活において知っておくべきことを積極的に知ろうとしている。 b：小筆の執筆法を身につけ、筆勢のある細楷を書いている。 c：天平写経に見られる用筆法を身につけるとともに行書の用筆法で楷書も筆勢溢れる作品にしようとしている。 d： 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ ・提出作品
	大作を作ろう	大筆を使って様々な大きさの画箋紙に漢字、漢字仮名交じり、仮名作品などを自由に表現する。	○		○		a：文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動ついて関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b：各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c： 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d： 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・提出作品

※ 表中の観点について　a: 書への関心・意欲・態度　b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能　d: 鑑賞の能力

※ 年間指導計画 作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇をつけている。